<table>
<tr><td>会 議 名</td><td colspan="3">第６回八名地域協議会</td><td>公　　開
（一部非公開）</td></tr>
<tr><td>日　　時</td><td>令和２年２月２６日（水）
午後７時３０分～午後８時３０分</td><td colspan="2">場　　所</td><td>一鍬田公民館
２階 集会室</td></tr>
<tr><td rowspan="2">出 席 者</td><td colspan="4">（委員）
伊田雅美、松澤誠司、前澤賢吉、黒田厚志、萩野博志、小林勝則、加藤昌彦、菅沼伸好、加藤久美子、夏目祐輔、中村美奈、建部彰生、勝木深雪、井下典子、松井真理、山本いづみ、井上こずえ、滝川多嘉子</td></tr>
<tr><td colspan="4">（事務局）
自治振興事務所：松井所長、森下</td></tr>
<tr><td>欠 席 者</td><td>（委員）
安形昌克、細田圭介、伊藤竜助、安形香余、小栁津美幸</td><td colspan="2">傍 聴 者</td><td>０名</td></tr>
<tr><td>配布資料</td><td colspan="4">次第、令和２年度八名地域自治区地域活動交付金事業審査結果一覧表、地域協議会の委員構成検討用資料、来年度への引き継ぎ事項、地域自治区予算による事業の進捗状況</td></tr>
</table>

議題・議事・発言等（要点記録）

１　開会

会長が挨拶を行い、本日の地域協議会成立の報告及び会議録署名人の指名を行った。

２　議事

（１）地域活動交付金の審査結果について（非公開）

地域活動交付金分科会長から、審査会の結果を報告し、地域協議会として審査結果を議決した。

また、地域協議会として申請団体に伝える意見についても協議し、事務局案の通り通知することとなった。

（２）地域活動交付金の二次募集について

地域活動交付金の残額を活用して二次募集を行うか検討し、協議の結果、多数決により二次募集は行わないこととなった。

＜主な意見＞

（委　員）次年度の委員の意見も聞いて決めてはどうか。

（委　員）イベントなどを企画する申請であれば、二次募集でも対応できると思われるが、年間通じての活動では活動期間が限られてしまうのではないか。再募集してもよいが、申請が出てくるかはわからない。

（委　員）年間通じた活動ができるよう、前年度審査を行っているため、二次募集は行わなくてよいと思う。

（委　員）二次募集で申請が上がってきそうな見込みがあればいいが、出なければ手間だけ増えてしまう。

（委　員）二次募集は行わなくてよいと思う。

（委　員）前年度審査の募集期間として２ヶ月の期間を設け、申請に至った団体は９団体であり、二次募集で申請が出てくるかどうか。

（３）地域協議会委員の構成について

地域協議会委員の構成について、事務局からこれまでの委員構成の変遷などを説明し、委員構成についての意見を伺った。
委員構成に関する意見は以下のとおり。

・八名区長会枠を１名とする。ただし、行政区代表者との兼任も可能とする。
・体育振興会枠については廃止することとなり、全体で２８名以内として決定。

（４）来年度への引き継ぎについて

来年度への引き継ぎ事項について協議した結果、分科会の構成、役割は今年度と同様とし、細かな引き継ぎ事項については、各分科会にて引き継ぐこととなった。

３　その他

（１）地域計画について

地域計画分科会長より、地域計画分科会の進捗状況について報告があった。
今年度の活動を通じて感じたことは、地域住民がどのように考えているか、八名をどういう地域にしていきたいかを把握するため、来年度にアンケートを実施したい。アンケート結果を八名地域の方向性として市へ提案し、その回答により再度、地域としてどういう方向性がよいか検討していきたい。
今年度は地域計画の各柱ごとの課題について検討し、各柱において地域活動団体が活動していることがわかり、その団体との連携を図っていきたい。
拠点運営について、拠点があることで情報の収集や発信が行いやすい体制ができていることから、引き続き拠点の運営を続けていきたい。

（２）地域自治区予算による事業の進捗状況について

事務局から地域自治区予算による事業の進捗状況について報告した。なお、地域情報収集・発信事業、共育推進事業については、滝川委員より報告していただいた。

４　その他

令和２年３月７日（土）に開催予定であったしんしろ自治フェス２０２０（地域活動交付金事業の成果報告会（市全域））は、新型コロナウィルスの感染拡大防止のため、中止となったことを報告した。

５　閉会